

令和3年度学校関係者評価集計結果【小学校】

【A=4：よくあてはまる B=3：あてはまる C=2：あまりあてはまらない D=1：あてはまらない】

(CやDに○をつけたときは、理由や意見を書いてください。)

	小学生	小保護者	小教員	I 学校生活について	考察 及び 改善 策	評価
A	50%	37%	20%	①子供は、学校・家庭・地域などであいさつをしている 	・概ね良好な結果である。 ・児童が率先して行えるように引き続き日常的に指導を行っていく。 ・教師や大人が積極的にあいさつをして習慣化を図る。	A
B	50%	53%	80%			
C	0%	11%	0%			
D	0%	0%	0%			
A	38%	55%	50%	②子供は、学校のきまりを守って生活している 	・毎週生活指導夕会を行い、対応で協議し、共通理解を図る。 ・地域の実態、活動内容、子供の様子などに即して柔軟にルール改善を行っていく。	A
B	63%	35%	50%			
C	0%	10%	0%			
D	0%	0%	0%			
A	19%	15%	40%	③子供は、正しい言葉づかいで話している 	・場面や児童によって差がある。個別にその場を捉えて繰り返し指導していく。 ・研修等を通して、教職員の言語環境への意識向上を図る。	B
B	75%	75%	60%			
C	6%	10%	0%			
D	0%	0%	0%			
A	19%	21%	20%	④子供は、ていねいに字を書いている 	・場面や児童によって差がある。状況に応じた文字の書き方を指導し、丁寧に書く必要感を実感させていく。	B
B	69%	47%	80%			
C	13%	32%	0%			
D	0%	0%	0%			
A	38%	47%	40%	⑤子供は、クラスの活動や生徒会（委員会）活動に積極的に取り組んでいる 	・概ね良好な結果である。 ・活動の意義ややりがいを意識させることにより、児童が率先して自主的に行えるように指導していく。	A
B	50%	47%	60%			
C	13%	5%	0%			
D	0%	0%	0%			

A	75%	55%	60%	<p>⑥先生は、授業以外でも話を聞いてくれたり会話をしてくれたりしている</p>	<p>考察 及び 改善 策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好な結果である。 ・どの児童にも公平に声を掛けるよう、日頃から意識して取り組む。 ・エンカレッジルームの活用を進める。
B	19%	35%	40%		
C	6%	10%	0%		
D	0%	0%	0%		
A	69%	60%	70%	<p>⑦学校行事（地区音・運動会・学芸会）などは、自分の成長に役立っている</p>	<p>考察 及び 改善 策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な結果である。 ・学習発表会への変更があったが、児童が実際に日常の授業で学んだことだからこそ、自発的な発表活動が実現できたものと捉えている。
B	31%	40%	30%		
C	0%	0%	0%		
D	0%	0%	0%		
A	50%	22%	30%	<p>⑧学校の施設・設備は安全で使いやすい</p>	<p>考察 及び 改善 策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な結果である。 ・今年度は、雨漏り、手すり、ドアの開閉など、少しずつであるが、予算を取り、修繕に努めることができた。次年度も計画的に改修修繕を進めていく。
B	50%	61%	60%		
C	0%	17%	10%		
D	0%	0%	0%		

	小学生	小保護者	小教員	Ⅱ 学習について		
A	63%	31%	40%	<p>⑨子供は、朝読書や朝学習に意欲的に取り組んでいる</p>	<p>考察 及び 改善 策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級、担任によって取り組み方に差が出ないように、十分に連携して指導をしていく。 ・児童の読書意欲が高まるよう、図書室のさらなる拡充を進める。 	
B	38%	56%	50%			
C	0%	13%	10%			
D	0%	0%	0%			
A	69%	40%	50%	<p>⑩子供は、授業に意欲的に取り組んでいる</p>	<p>考察 及び 改善 策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童は素直で、発言力もあり、意欲的に学習に取り組んでいる。 	
B	31%	45%	50%			
C	0%	15%	0%			
D	0%	0%	0%			

A	44%	44%	30%	<p>⑪子供は、家庭学習に毎日取り組んでいる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>44%</td> <td>56%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>小保護者</td> <td>28%</td> <td>28%</td> <td>44%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>小教員</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	A	B	C	D	小学生	44%	56%	0%	0%	小保護者	28%	28%	44%	0%	小教員	0%	0%	0%	0%	考察 及び 改善 策	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の能力に応じた課題の出し方を工夫し、児童が家庭で意欲的に自主的に取り組める内容になるよう改善していく。
対象	A	B	C		D																					
小学生	44%	56%	0%		0%																					
小保護者	28%	28%	44%		0%																					
小教員	0%	0%	0%	0%																						
B	56%	28%	70%	評価	B																					
C	0%	28%	0%																							
D	0%	0%	0%																							
A	81%	24%	40%	<p>⑫学校の授業は、分かりやすく、楽しい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>81%</td> <td>19%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>小保護者</td> <td>24%</td> <td>71%</td> <td>6%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>小教員</td> <td>40%</td> <td>10%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	A	B	C	D	小学生	81%	19%	0%	0%	小保護者	24%	71%	6%	0%	小教員	40%	10%	50%	0%	考察 及び 改善 策	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は「分かりやすい」と感じている児童が多かった。引き続き、主体的、対話的で、思考力を高める指導になるように工夫改善をしていく。
対象	A	B	C		D																					
小学生	81%	19%	0%		0%																					
小保護者	24%	71%	6%		0%																					
小教員	40%	10%	50%	0%																						
B	19%	71%	50%	評価	A																					
C	0%	6%	10%																							
D	0%	0%	0%																							
A	31%	32%	60%	<p>⑬授業で学んだことを普段の生活に結びつけて考えることができている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>31%</td> <td>63%</td> <td>6%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>小保護者</td> <td>32%</td> <td>58%</td> <td>11%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>小教員</td> <td>60%</td> <td>40%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	A	B	C	D	小学生	31%	63%	6%	0%	小保護者	32%	58%	11%	0%	小教員	60%	40%	0%	0%	考察 及び 改善 策	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好だが、実感しているとは言えない状況と捉える。 ・学習した成果が実生活に役立ったという体験ができるよう、授業展開を工夫していく。
対象	A	B	C		D																					
小学生	31%	63%	6%		0%																					
小保護者	32%	58%	11%		0%																					
小教員	60%	40%	0%	0%																						
B	63%	58%	40%	評価	B																					
C	6%	11%	0%																							
D	0%	0%	0%																							
A	63%	35%	30%	<p>⑭学校で、命や人権に関することを学んでいる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>63%</td> <td>38%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>小保護者</td> <td>35%</td> <td>55%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>小教員</td> <td>30%</td> <td>60%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	A	B	C	D	小学生	63%	38%	0%	0%	小保護者	35%	55%	10%	0%	小教員	30%	60%	10%	0%	考察 及び 改善 策	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好だが、実感しているとは言えない状況である。 ・集会や道徳で意識して扱うようにし、生命や人権の重要性に学年を問わず指導していく。
対象	A	B	C		D																					
小学生	63%	38%	0%		0%																					
小保護者	35%	55%	10%		0%																					
小教員	30%	60%	10%	0%																						
B	38%	55%	60%	評価	A																					
C	0%	10%	10%																							
D	0%	0%	0%																							
A	63%	35%	44%	<p>⑮総合的な学習に時間は、自分の成長に役立っている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>63%</td> <td>38%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>小保護者</td> <td>35%</td> <td>60%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>小教員</td> <td>44%</td> <td>56%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	A	B	C	D	小学生	63%	38%	0%	0%	小保護者	35%	60%	5%	0%	小教員	44%	56%	0%	0%	考察 及び 改善 策	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な結果である。 ・小中9年間の総合的な学習の系統性を作成した。それに基づいて、郷土理解、キャリア教育に力を入れて取り組んでいく。
対象	A	B	C		D																					
小学生	63%	38%	0%		0%																					
小保護者	35%	60%	5%		0%																					
小教員	44%	56%	0%	0%																						
B	38%	60%	56%	評価	A																					
C	0%	5%	0%																							
D	0%	0%	0%																							